

1 年理科発展学習プログラム

11 月 11 日 12 日に 1 年生の発展学習プログラムを実施しました。

京都府立大学生命環境科学研究科教授椿一典先生からご講義をいただき、「匂い物質の合成」について学びました。

- 構造式とは何かを知り、構造式と匂いの関係を体験しました。
- 匂い物質(エステル)の合成
濃硫酸を触媒として、カルボン酸とアルコールの脱水反応により、香料分子であるカルボン酸エステルの合成を行い、合成されたものの匂いを比較体験しました。
- 変色物質(フェノールフタレイン誘導体)の合成
酸性～アルカリ性によって、色が変わる pH 指示薬であるフェノールフタレインとその誘導体を合成し、色の変化を比較観察しました。

